



避難所となった
総合体育館

復旧・復興 の歩み

平成 28 年熊本地震から今年で 5 年が経過します。その間、町では、さまざまな復旧・復興事業を行ってきました。その取り組み・出来事を紹介します。

がれきで
ふさがれた
県道熊本高森線



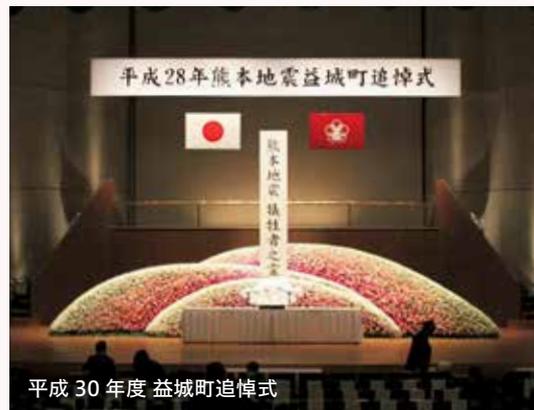
自主防災組織による避難訓練



まちづくり協議会の活動



テクノ仮設団地



平成 30 年度 益城町追悼式

● 新給食センター完成 (平成 31 年 3 月)

● 布田川断層帯が国天然記念物指定 (平成 30 年 2 月)

● 応急仮設住宅入居開始 (平成 28 年 6 月)

● 初のまちづくり協議会設立 (平成 29 年 1 月)

● 小中学校 通常給食開始 (平成 29 年 4 月)

● 初の自主防災クラブ設立 (平成 29 年 11 月)

平成 31 年
令和元年

● 益城中央被災市街地復興土地区画整理事業が都市計画決定 (平成 30 年 3 月)

平成 30 年

平成 29 年

熊本地震発生
(平成 28 年 4 月)



堂園地区

国天然記念物
となった
布田川断層帯

● 復興計画策定 (平成 28 年 12 月)

● 県道熊本高森線 4 車線化が都市計画決定 (平成 29 年 2 月)

● 被災市街地復興推進地域が都市計画決定 (平成 29 年 3 月)

● 役場仮設庁舎業務開始 (平成 29 年 5 月)



杉堂地区



谷川地区

被災した
旧益城町役場庁舎

